

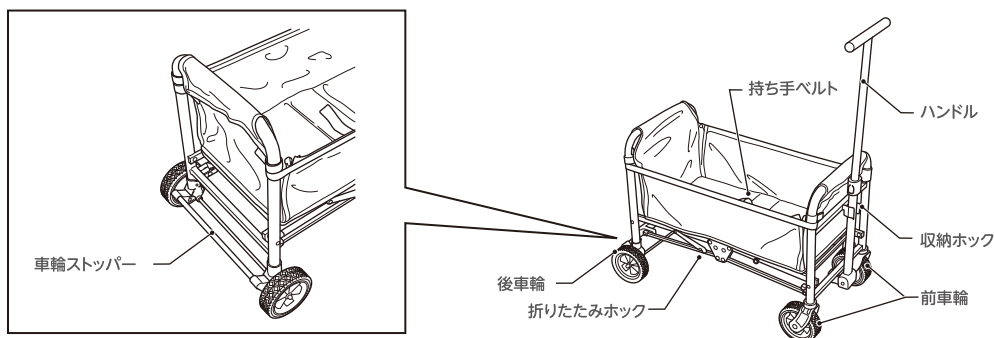


座れる折りたたみキャリーカート

このたびはお買い上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用の前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書は、いつでもご覧になれる場所に大切に保管してください。
- 本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。製品の機能が発揮できないだけでなく大変危険です。

1. 各部の名称

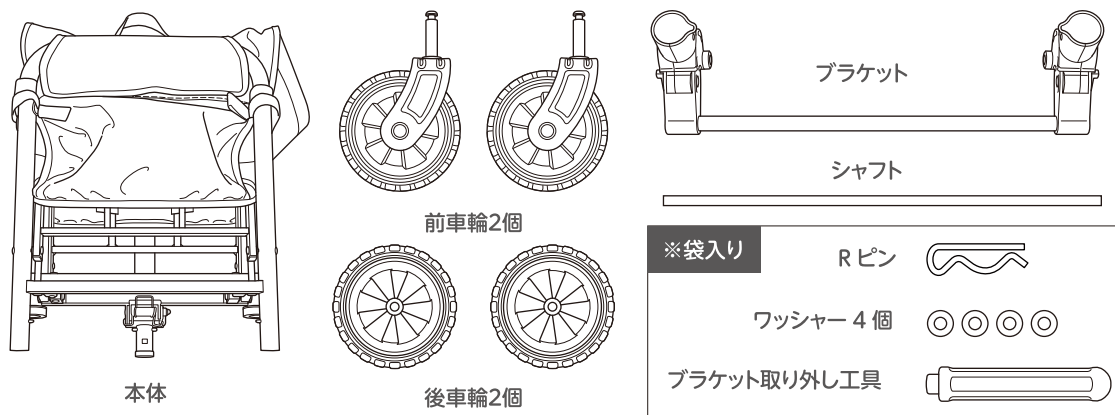


2. 部品内容

※組立前に部品が全て揃っているか確認してください。

※開封時に本製品のタイヤ材質である合成ゴム特有のにおいがしますが異常ではありません。

風通しの良いところに数時間～数日置いておくことで軽減します。



3. ご使用のまえに

本製品は日常の買物荷物、ピクニックやキャンプに道具などを載せて運搬するキャリーカートです。

人を(特に小さなお子さまは)乗せて動かすことはできません。

※本製品はベビーカーではありません。

耐荷重：走行時 50kg、停車時 100kg

安全にご使用いただくために

本製品は日常の買物荷物、ピクニックやキャンプに道具などを載せて運搬するキャリアカートです。

人（特に小さなお子さま）を乗せて動かすことはできません。

※本製品はベビーカーではありません。

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよびご使用者が重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。

- ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、お子さまおよびご使用者への危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の2つに区分して示してあります。安全のため必ずお守りください。

表 示	表 示 の 内 容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の可能性があります。

※お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

	警告 / 注意をうながす内容があることを告げるものです。
	禁止行為であることを告げるものです。
	補足の説明を示すものです。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 組立は本取扱説明書に従い、保護者（大人のかた）が正しく確実に行ってください。
- 組立および開閉する際には、そばに人（特に小さなお子さま）を近づけずに行ってください。
- お子さまに操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 耐荷重以上の荷物は載せないでください。耐荷重：走行時 50kg、停車時 100kg。
- 耐荷重以内であっても、荷物を投げ入れたり、飛び乗ったり、急激な力をかけないでください。
- キャリヤカートを停止させているときは、必ず車輪ストッパーのロックをかけてください。
- 車輪ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒したりするおそれがあります。
- 荷物を載せたままキャリヤカートから離れないでください。
- 空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。
- 絶対に人（特に小さなお子さま）、犬や猫などのペットを乗せたまま走行しないでください。落下したり転倒したりして大きなけがををするおそれがあります。
- 人や荷物を乗せたままキャリヤカートを持ち上げないでください。
- 車幅からはみ出して大きな荷物を載せて走行する際は、周りに十分注意してください。荷崩れしないようしっかりと固定してください。
- 車体側面を開いて走行する際は、ベルトや生地が車輪に絡まないよう注意してください。
- ベンチとして使用する際は、必ず車輪ストッパーをロックさせて腰掛けてください。
- ベンチとしてお子さまが使用する際は、必ず保護者の方が付き添いそばを離れないでください。お子さまが予期しない行動をとり、けがや事故の原因になることがあります。
- 座るときはゆっくりと腰を下ろしてください。キャリヤカートの上で飛び跳ねたり、急に立ち上がったらないでください。
- 側面の片側を開いて、逆側を閉じた状態で使用する際は、寄りかからないでください。転倒するおそれがあります。
- 荷物の積み降ろしは必ず平坦で安全な場所で行ってください。本体が転倒しないように必ず支えてください。
- 荷台の生地を取り外して金属フレームだけの状態で使用しないでください。
- 自動車、バイク、自転車などで牽引しないでください。大変危険です。
- 階段、エスカレーター、大きな段差のあるところ、砂浜、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路、凍結したり雪が積もっていたりする滑りやすいところでは使用しないでください。
- 火の近くおよび高温な場所に近づけたり放置したりしないでください。火が燃え移ったり、部品が変形したり、溶けたりするおそれがあります。
- 危険ですので、お子さまの遊具として使用しないでください。
- 破損や異常が発生した場合は使用を中止してください。
- その他、本取扱説明書に記載の用途以外の使用はしないでください。



注意

誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の可能性があります。

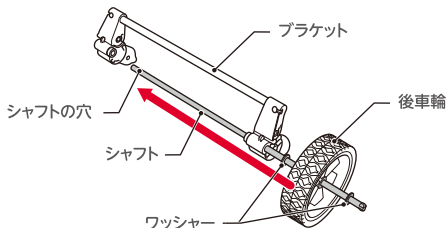
- 組立および開閉する際に、手や指などをはさまないように十分に注意してください。
- 貴重品、ガラス製品や陶器などの壊れやすいもの、その他危険なものもキャリヤカートに積んだり、載せて走行しないでください。
- 走行中に本体が周囲の人や物に接触したり、ハンドルが倒れて当たらないよう注意してください。
- 段差や凹凸や溝のある場所、坂道や傾斜地では注意して走行してください。本体が転倒するおそれがあります。
- 乱暴な走行や取り扱い、無理な力をかけないでください。事故や故障につながるおそれがあります。
- 走行中に車輪ストッパーをかけたり、車輪ストッパーをかけたまま走行させないでください。車輪やストッパーが破損します。
- 長時間、長距離の走行はしないでください。車輪の摩擦による損傷や故障の原因になります。
- 走行しないときは、必ずハンドルを収納ホックに留めてください。ハンドルが不用意に倒れ人や物に当たるおそれがあります。
- キャリヤカートを閉じた時は必ず折りたたみホックをかけてください。キャリヤカートが不意に開いて人や物に当たるおそれがあります。
- 使用する前に毎回、ネジやナットにゆるみがないか、フレームの変形や破損、溶接部に異常がないか確認してください。ゆるみやさしみなどの異常がある場合は使用を中止し、当社へご連絡ください。
- 本製品の修理や分解、改造は絶対に行わないでください。
- 風の強い時や雨降りの時、落雷のあるときは使用しないでください。
- 直射日光に当たる場所で長時間使用、放置しないでください。また、屋外に放置、保管しないでください。さびや部品劣化の原因になります。
- 水や土、泥、砂などが付着した場合は拭き取ってから保管してください。湿気たまま放置、保管するとカビや悪臭の原因になります。
- 汗や水で濡れた衣類などでキャリヤカートの生地に触れると、シートの色が衣類などに移る場合がありますのでご注意ください。
- 本製品のタイヤと、屋内のビニールタイルなどの床材やフローリングのワックス、車のマット素材との相性により移染（可塑剤移行）が起こる場合があります。屋内や車内で保管する場合の床やマットの素材によっては、布などの敷物を使用してください。
- 開封時に本製品のタイヤ材質である合成ゴム特有のにおいがしますが異常ではありません。風通しの良いところに数時間～数日置いておくことで軽減します。
- 本製品は一般家庭用です。保育園などの施設や団体、レンタル業や商業施設などでの業務用など、一般家庭以外で使用しないでください。

4. 組立方法



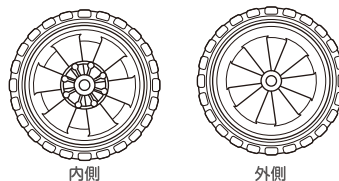
- ・手や指などをささないよう十分に注意してください。
- ・組立時には、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。

- ① シャフトを穴が開いている方向からワッシャー、後車輪、ワッシャーを順に入れ、ブラケットに通す。

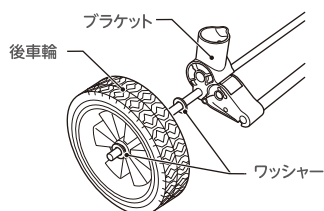


お願い

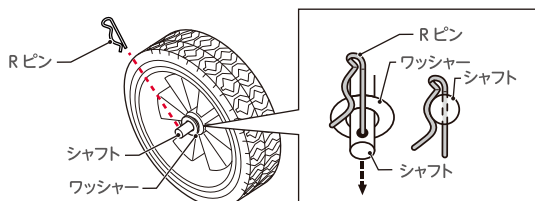
後車輪に左右の区別はありませんが車輪の向きに注意してください。



- ② ブラケットを通したシャフトに、ワッシャー、後車輪、ワッシャーを入れる



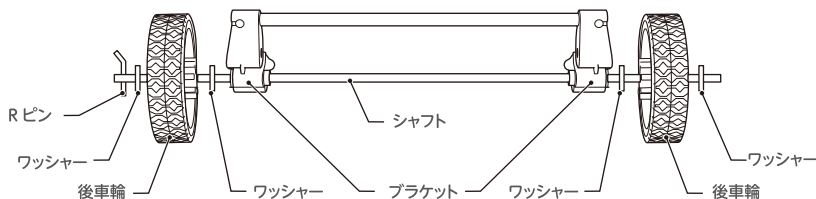
- ③ 通したシャフト先端の穴に R ピンを挿入する。
※R ピンが入れにくい場合は先の細いペンチなどを使用してください。



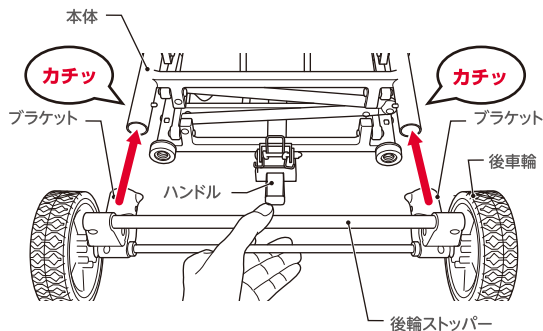
R ピンが外れないよう確実に取り付けられていることを確認してください。
正しく取り付けていないと、R ピンが外れ車輪が脱落して転倒するおそれがあります。



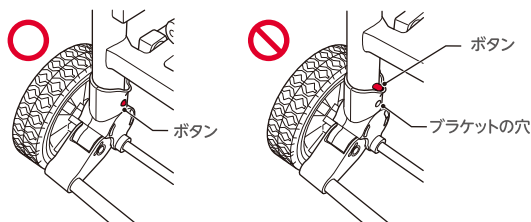
下図の順に部品が組み立てられていることを確認してください。
ワッシャーの場所が間違っていると、車輪の回転不良や偏摩耗により正常に走行できないことがあります。



- ④ 本体をハンドルを下にして寝かせて置き
組み立てた後車輪のブラケット部分を本体に取り付ける。



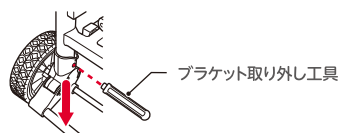
ブラケットの穴から、ボタンが出ていることを確認しブラケットを引っ掛けて、
抜けないことを必ず確認してください。
正しく取り付けていないと、ブラケットが脱落して転倒するおそれがあります。



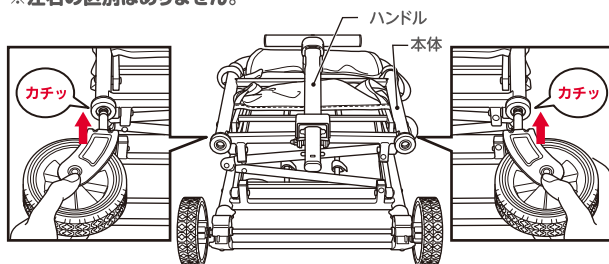
車輪ストッパーが手前になる向きで取り付けてください。
向きを間違えると、ストッパーの操作ができなくなります。

お願い

向きを間違えた場合は、ブラケット取り外し工具を使用して組み替えてください。
ブラケットを外すには、取り外し工具の先端でボタンを押し込んだままブラケットを引き抜きます。

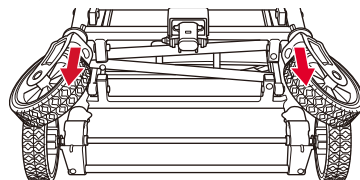


- ⑤ 本体をハンドルを上にして寝かせて置き、前車輪を左右とも取り付け。
※左右の区別はありません。



警告

左右とも前車輪を引っ掛けて、抜けないことを必ず確認してください。
正しく取り付けしていないと、前車輪が脱落して転倒するおそれがあります。



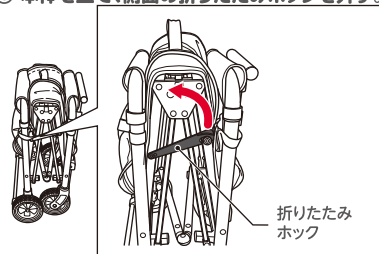
5. 使い方

警告

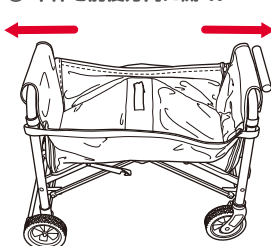
- ・手や指などをはさまないように十分に注意してください。
- ・キャリーカートを開閉する際には、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。
- ・お子さまに操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。

キャリーカートの開き方

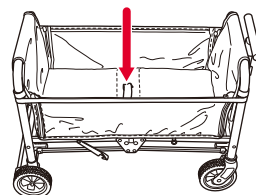
- ① 本体を立て、側面の折りたたみホックを外す。



- ② 本体を前後方向に開く。



- ③ 荷台の中央部分を平らになるまで押し、本体を完全に開く。

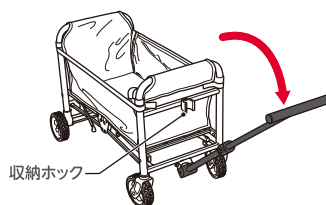


ハンドルの使いかた

- ① 取手をカチッというまで上方に引き上げ

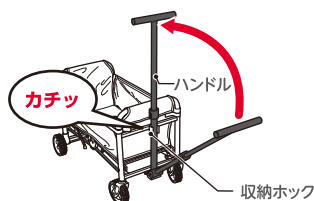


- ② 収納ホックからハンドルを外す

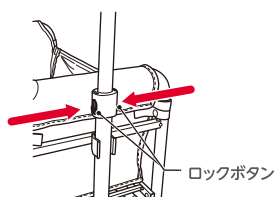


ハンドル収納のしかた

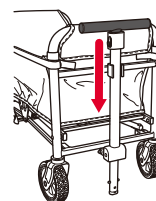
- ① ハンドルを収納ホックに留める



- ② ロックボタンを左右押しながら



- ③ ハンドルを押し下げる



注意

- ・ハンドルが収納ホックに確実に留まっていることを確認してください。ハンドルが不用意に倒れる危険があります。
- ・ハンドルは収納位置(縮めた位置)では固定されません。必ず伸ばした状態でご使用ください。

車輪ストッパーの使いかた



- ・キャリーカートを停止させているときは、必ず車輪ストッパーのロックをかけてください。
- ・車輪ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒したりするおそれがあります。
- ・荷物を載せたままキャリーカートから離れないでください。
- ・空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。



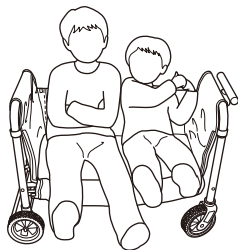
- ・車輪ストッパーは、キャリーカートを停車させておくため後輪をロックさせるものです。走行中のキャリーカートのスピードを緩めたり、停止させたりするためのブレーキではありません。
- ・走行中に車輪ストッパーをかけると、車輪やストッパーが破損します。また、車輪ストッパーをかけたままキャリーカートを走行させないでください。

- ① ロックするときは車輪ストッパーを押し下げる。
- ② ロックを解除するときは車輪ストッパーを押し上げる。



ベンチとして使うとき

本体側面を開いて、大きなものを乗せたり、停車中に限りベンチとして腰掛けたりすることができます。

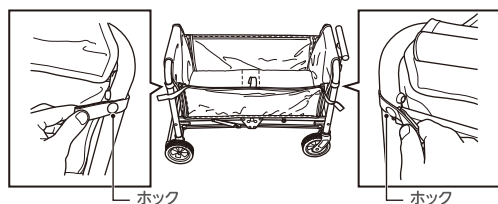


- ・絶対に人(特に小さなお子さま)、犬や猫などのペットを乗せたまま走行しないでください。落下したり転倒したりして大きなけがをするおそれがあります。
- ・車幅からはみ出して大きな荷物を載せて走行する際は、周りに十分注意してください。
- ・本体側面を開いて走行する際は、ベルトや生地が車輪に絡まないよう注意してください。
- ・ベンチとして使用する際は、必ず車輪ストッパーをロックさせて腰掛けてください。
- ・側面の片側を開いて、反対側を閉じた状態で使用する際は、寄りかからないでください。転倒するおそれがあります。

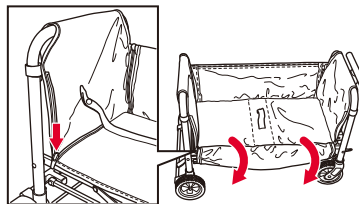


- ・生地やベルトに無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。
- ・静止時の耐荷重は100kgです。耐荷重を超えて多人数で乗ったり、荷物を載せたりしないでください。

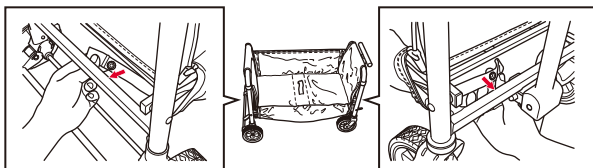
① 本体前後のホックを外す



② 前後のファスナーを下して、側面生地を本体の底面へ回す



③ ホックを本体底面側のホックに留める



④ 本体側面を閉じるときは、開くときの逆の手順で行います。

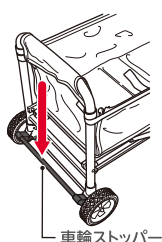
※ホックが留めにくいときは、本体を少し閉じると留めやすくなります。



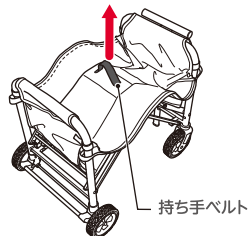
側面生地を閉じて使用するときは、必ず前後ともホックを留めてください。ファスナーを上げただけで使用すると生地が破損して外れ荷物が落下するおそれがあります。

キャリーカートの閉じかた

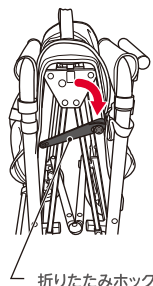
① 車輪ストッパーをロックする



② 持ち手を引き上げ



③ 折りたたみホックをかける



持ち運びの際は持ち手ベルトを持ってください。持ち手ベルト以外のところを持つと不用意にハンドルがはずれたり、キャリーカートが開いたりするおそれがあります。



日常のお手入れ

縫製品の清掃について



- ・金属、プラスチック部品、ホックなどでケガをしないように注意してください。
- ・製品の特性上、若干色落ち、色あせすることがあります。
- ・洗剤は、蛍光増白剤、漂白剤、酵素などを含まない中性洗剤を使用してください。
- ・事前に洗剤の注意書きを読んでお使いください。
- ・保管状態により、カビが発生することがあります。汚れたら清掃をし、清潔に保つよう心がけてください。

- 30℃以下の液温の洗剤をつけたブラシやスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。

廃棄方法について

- お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。

「標準使用期間」について

本製品の「標準使用期間」は、新規購入から3年間です。

購入後3年間を経過した製品については、不測の事態に備えて使用を中止してください。

- 標準使用期間を超えてのご使用は、材料の経年劣化により、徐々に強度の低下や各部のガタツキが大きくなることで、本来の性能を果たせず危険を招くおそれがあります。
- 他人への譲渡等によるご使用は、標準使用期間を超える場合がありますのでご注意ください。また、使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管状態により故障する場合があります、この期間の品質を保証するものではありません。保証書に記載している保証期間を過ぎた場合は有償修理となります。
- 製品の品質向上のため予告なく仕様を変更する場合があります。

この商品の品質で、お気づきの点がございましたら
お手数ですが右記までご連絡ください。

販売元
株式会社 西松屋チェーン
〒671-0218
兵庫県姫路市節東町庄266 -1

【お客様相談窓口】
フリーダイヤル 0120-7-24028
受付時間 10:00 ~18:00
(土・日・祝日・弊社所定休日を除く)